

2018年6月期（第27期） 決算ハイライト

2018年8月3日
アクモス株式会社

目次

■ 連結業績ハイライト	2	■ 第28期業績予想	19
■ 連結営業利益分析	3	■ 株主還元	20
■ マネジメントサマリー	4	■ 対処すべき課題	21
■ 連結売上高・営業利益推移	5	■ 参考資料	22
■ 連結キャッシュ・フロー推移	6	・アクモスグループ事業	
■ 連結財政状態	7	・アクモスグループ一覧	
■ セグメント情報 ITソリューション事業	8	・連結貸借対照表	
■ セグメント情報 ITサービス事業	9	・連結損益計算書	
■ 長期ビジョン・中期経営計画	10	・連結キャッシュ・フロー計算書	
		・単体貸借対照表	
		・単体損益計算書	

連結業績ハイライト

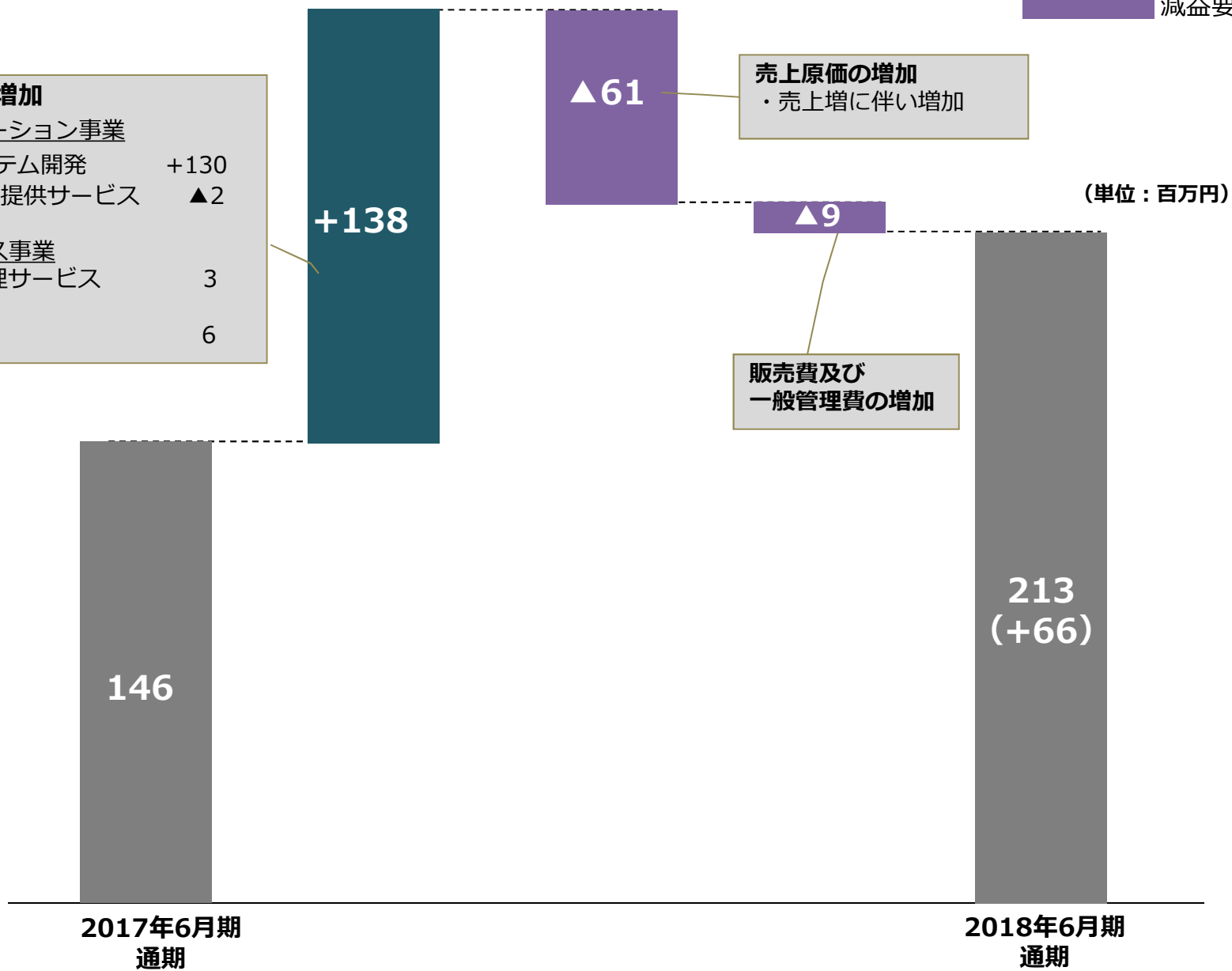
(単位：百万円)

	2017年6月期	2018年6月期					
	通期実績	通期実績	前期比 増減額	前期比 増減率	当初予想 (2017/8/4)	当初予想 比増減額	達成率
売上高	4,062	4,200	138	3.4%	4,200	0	100.0%
営業利益	146	213	66	45.4%	155	58	137.4%
経常利益	158	218	59	37.5%	170	48	128.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	143	167	23	16.3%	150	17	111.5%
株主資本利益率 (ROE)	10.8%	11.2%	—	—	10.0%	—	—
時間当たり付加価値	3,073円	3,118円	45円	—	3,200円	▲82円	—

連結営業利益分析

■ 増益要因
■ 減益要因

売上高の増加	
ITソリューション事業	
SI・システム開発	+130
地図情報提供サービス	▲2
ITサービス事業	
情報処理サービス	3
調整額	6



マネジメントサマリー

中期経営計画 I (2016/07-2019/06)の2年目として、「変革」にむけ、事業の専門特化とともに収益改善に注力

- 連結業績は、前期比・当初予想比ともに増収増益
- ITソリューション事業にて企業向けシステム開発案件における増員対応等により売上が増加し、増収増益に貢献

ITソリューション事業

- ・システム更新案件等、システムエンジニアリングサービス分野が伸長
- ・情報セキュリティ分野は、自社開発サービスの代理店を通じた営業展開や展示会出展などの販売促進とPR活動に注力
- ・病院内情報システムの運用管理は、前期の受注病院数を維持
- ・地図情報提供サービスは、道路区画線診断システムを開発し、異業種にむけたシステム提供を開始

ITサービス事業

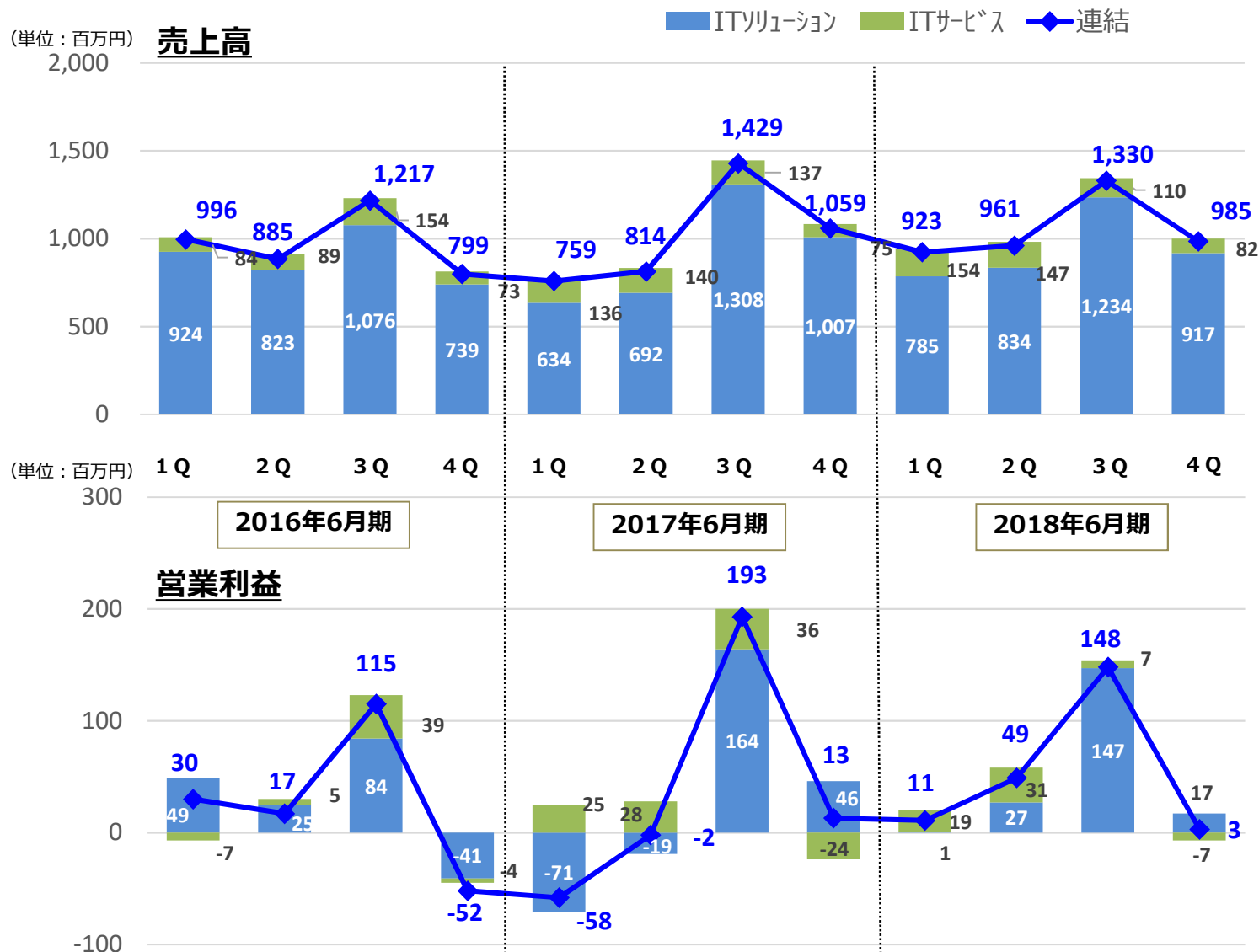
- ・ストレスチェック等のEAP(※)関連業務は、おおむね前期並みの売上を確保
- ・従業員満足度調査パッケージサービスの提供を開始

※EAP : 従業員支援プログラム。Employee Assistance Programの略

株主還元

- 期末配当は当初予想通りに1株当たり3円を予定

連結売上高・営業利益推移



国内法人顧客の多くが3月決算であることから、3月末にあたる第3四半期末において、売上が多く計上される傾向があります。

※各セグメントの売上高・営業利益には、内部取引分を含んでおります。
連結の数値は、内部取引相殺後となっております。

連結キャッシュ・フロー推移



営業キャッシュ・フロー **290百万円**

- ・法人税等の支払額 **▲39百万円**
- ・売上債権の減少 **36百万円**
- ・税金等調整前当期純利益 **216百万円**
- ・減価償却費 **48百万円**

ITソリューション事業は、下期の3月末の売上計上が多く、下期において売掛金を回収するために、営業キャッシュ・フローが下期に増加する傾向にあります。

投資キャッシュ・フロー **▲18百万円**

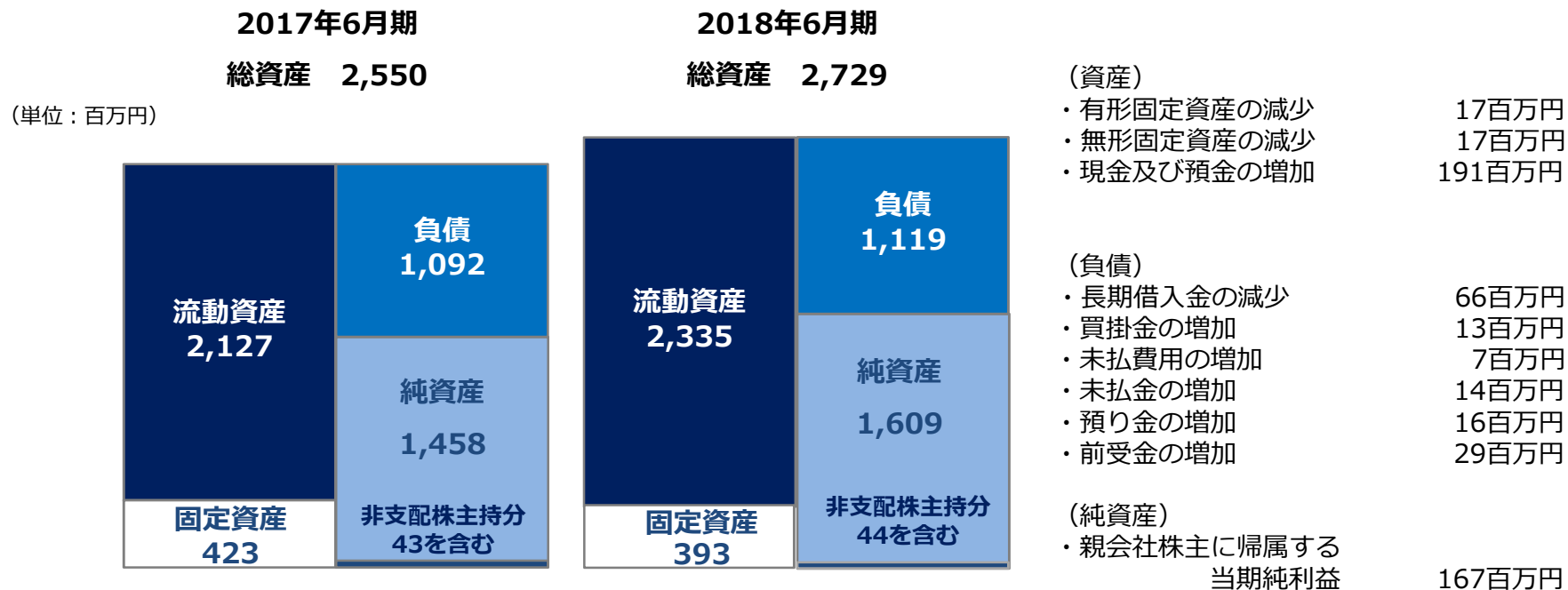
- ・有形固定資産の取得による支出 **▲12百万円**

財務キャッシュ・フロー **▲79百万円**

- ・配当金の支払額 **▲19百万円**
- ・長期借入金の返済による支出 **▲66百万円**

連結財政状態

総資産は前期比で増加。自己資本比率は57.3%



(単位：百万円)

	2017年6月期	2018年6月期	増減
設備投資 + 研究開発費	53	38	▲15
減価償却費	55	48	▲6
有利子負債	383	323	▲59

セグメント情報 ITソリューション事業

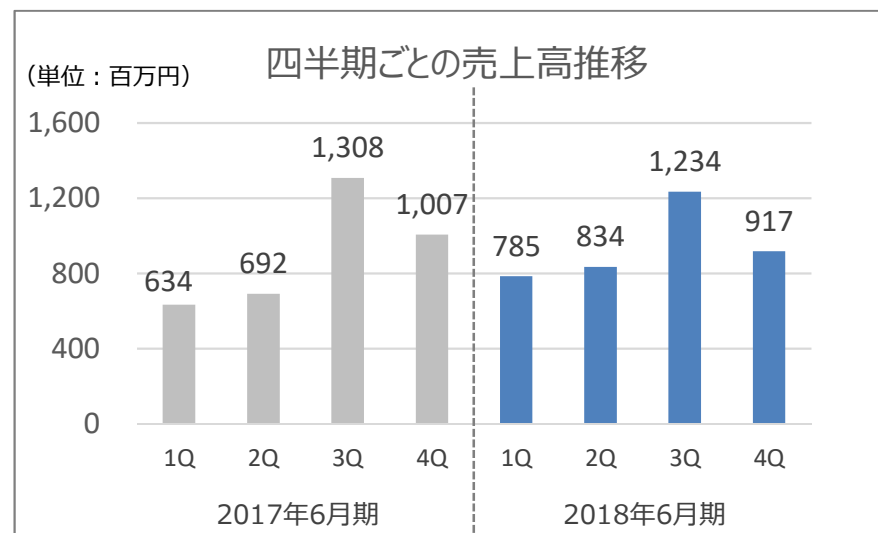
企業向けシステム開発案件での増員対応等により売上、営業利益ともに前期比増

(単位：百万円)

	2017年6月期 通期	2018年6月期		
		通期	増減額	増減率
売上高	3,643	3,771	128	3.5%
外部	3,572	3,707	134	3.8%
内部	71	64	▲6	▲9.1%
営業利益	120	192	72	60.4%

事業の概況

- システム開発・構築分野は、企業向けのシステム開発案件における増員対応等により売上増
- 医療系システム分野は、病院内システム運用管理業務の顧客病院数を前期から維持
- 地図情報提供サービスは、森林ICTプラットフォームを中心に地方自治体や森林組合からの受注に取り組み、山林調査業務を受注



セグメント情報 ITサービス事業

売上は前期並みを確保するも、事業拡大にむけた経費増加により営業利益は前期比減

(単位：百万円)

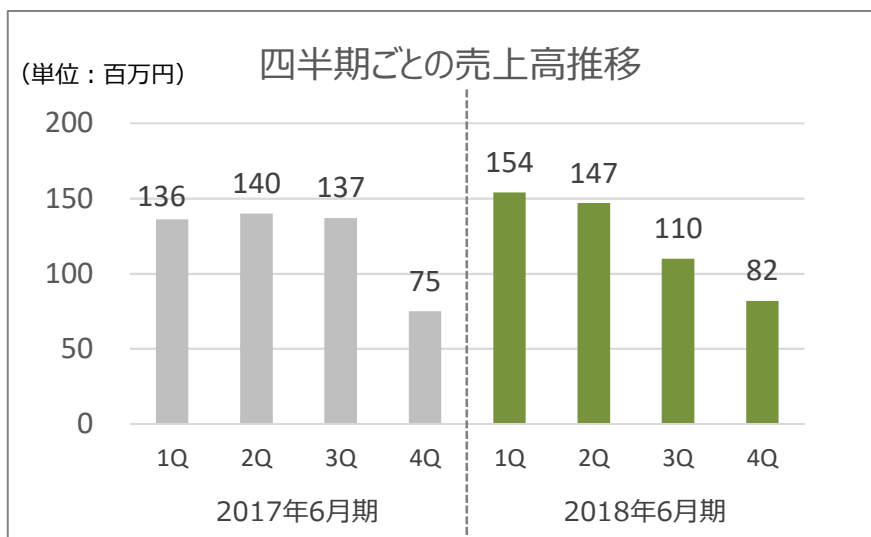
	2017年6月期		2018年6月期	
	通期	通期	増減額	増減率
売上高	490	493	3	0.7%
外部	490	493	3	0.7%
内部	0	0	▲0	-
営業利益	64	51	▲13	▲20.7%

事業の概況

● ストレスチェック案件を中心としたEAP関連分野の売上が前期比3.3%減となったものの、全体ではほぼ前期並みの売上を確保

事業拡大のため採用を強化したこと等により経費が増加したため、営業利益は減少

セミナー実施等によりサービスの拡販に努めるとともに、機能追加や新規サービスの開発を推進



長期ビジョン 中期経営計画



長期ビジョン2025

私たちは輝くICTサービスで社会の向上に貢献します。

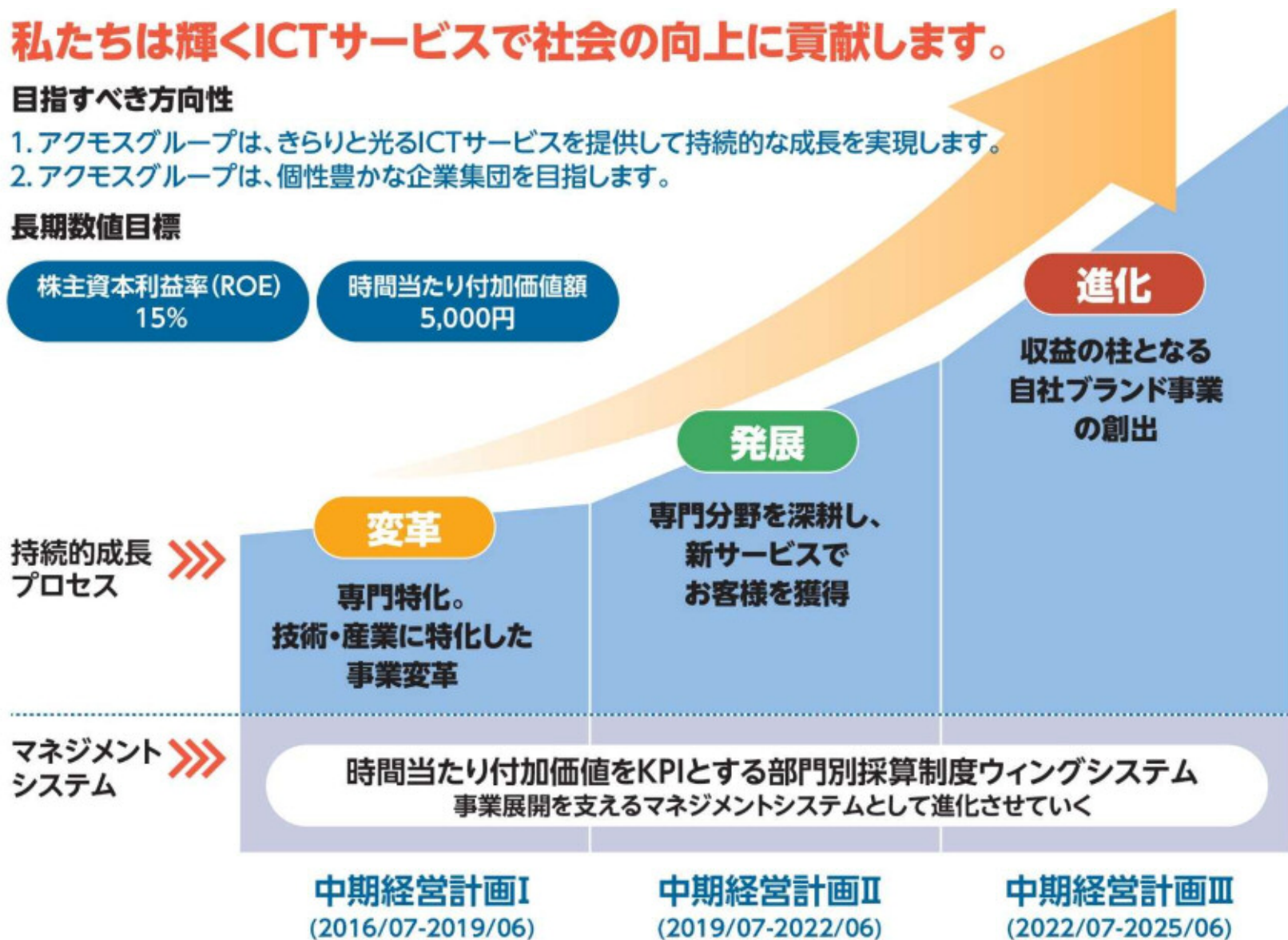
目指すべき方向性

1. アクモスグループは、きらりと光るICTサービスを提供して持続的な成長を実現します。
2. アクモスグループは、個性豊かな企業集団を目指します。

長期数値目標

株主資本利益率 (ROE)
15%

時間当たり付加価値額
5,000円



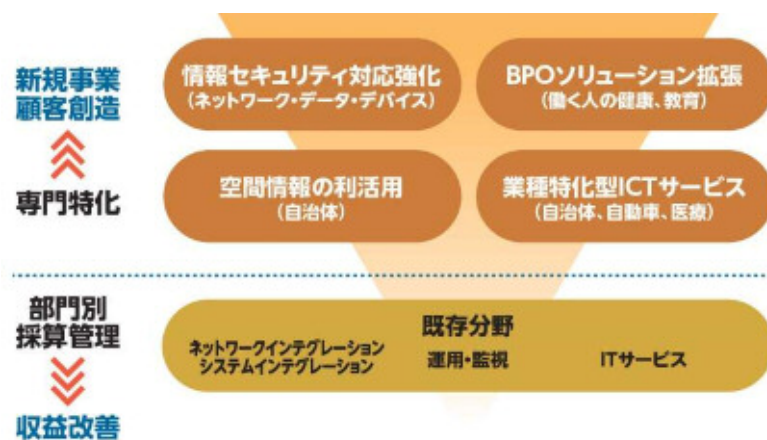
中期経営計画 I (2016/07-2019/06)

変革

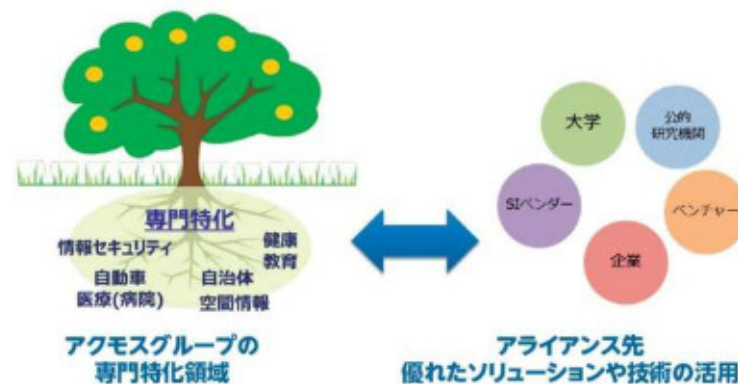
産業や技術分野等の対象を深耕し、当社グループの技術を生かしたソリューション、サービスを提供する専門特化による事業変革を進めます。

事業戦略

専門特化による顧客創造、
お客様とのパートナーシップ醸成を目指す



オープンイノベーション志向によるアライアンス推進
専門特化の対象となる分野では、アライアンスを活用し、
新サービスの創造を促進



組織戦略

部門別採算管理の浸透、全員参加経営の実現による付加価値増大を目指す

- 部門別採算制度ウイングシステムのグループ企業への拡大

人材育成

専門性の高い多様な人材の育成を目指す

- 事業戦略に沿った資格取得の推進
情報セキュリティ関連資格、医療情報技師、技術士、測量士など

中期経営計画 I (2016/07-2019/06)

進捗と今後の取り組み

アクモスグループでは、第26期からの3年間について“変革”をテーマに掲げ、産業や技術分野等の対象を深耕し、当社グループの技術を生かしたソリューション、サービスを提供する専門特化による事業変革を進めております。

今後については、定性的な方向性は基本的に変えず、専門特化を中心とした事業戦略を展開いたしますが、第28期の定量的な目標は、以下の通り見直しを行います。

	第26期 2017年6月期	第27期 2018年6月期	第28期 2019年6月期	
	実績	実績	予想	中期経営計画値
売上高	4,062百万円	4,200百万円	4,350百万円	4,500百万円
営業利益	146百万円	213百万円	225百万円	270百万円
経常利益	158百万円	218百万円	230百万円	290百万円
親会社株主に 帰属する当期純利益	143百万円	167百万円	170百万円	230百万円
株主資本利益率 (ROE)	10.8%	11.2%	11%以上	12%以上
時間当たり付加価値	3,073円	3,118円	3,200円	3,300円

中期経営計画 I (2016/07-2019/06)進捗

専門特化①情報セキュリティ対応強化

セキュリティ関連製品開発とパートナーを通じた営業活動を推進。
第28期も引き続きアライアンスを進め、セキュリティ分野でのさらなる案件獲得を目指す。

戦略の進捗

セキュリティ関連製品の創出

- ・2017年6月 2製品を提供開始
超高速秘密分散ソリューション(API)「**SYMPROBUS Divide API**」
標的型攻撃メール訓練ソリューション「**SYMPROBUS Targeted Mail Training(TMT)**」
- ・2017年11月 TMTクラウド版を提供開始

アライアンス推進

- ・アライアンス企業16社獲得(第26期11社、第27期5社)
- ・TMTは、代理店販売により大手企業を中心に営業展開。
代理店主催の展示会に出展するなど、販売促進とPR活動に注力。
- ・パートナー企業の製品を活用したネットワークインテグレーション分野の営業活動を推進。

展示会出展

- ・2017年2月 茨城県『平成28年度 情報セキュリティとICTセミナー』
- ・2017年5月 2017 Japan IT Week内『第14回 情報セキュリティEXPO』
- ・2017年10～11月 代理店主催『Best Value Solution 2017』大阪、東京、名古屋

中期経営計画 I (2016/07-2019/06)進捗

専門特化②業種特化型ICT(自動車、医療)

新規開拓や協業先からの案件受注増加も、顧客要求への対応や要員確保が課題に。
第28期は、戦略分野(自動車、医療)への戦力集中、シェア拡大と品質の追求を進める。

戦略の進捗

病院内情報システム運用管理

- ・新規受注と契約終了した案件があり、前期の顧客病院数を維持。

2016年6月現在14病院

⇒ 2017年6月現在21病院に拡大 ⇒ 2018年6月現在21病院を維持

人材育成

- ・病院内情報システム運用管理の強化にむけ、医療情報技師資格の取得支援を継続。
第27期までに32名が合格。

中期経営計画 I (2016/07-2019/06)進捗 専門特化③空間情報の利活用

自社製品開発を進めるも、販路拡大と利益率向上が課題に。
第28期はアライアンスを強化し、システムの開発および販売促進を図る。

戦略の進捗

森林関連業務

- ・森林ICTプラットフォームの導入を全国に展開し、地方自治体や森林組合からの受注に取り組む。
- ・2017年6月期に開発したWebGISエンジンが森林ICT案件の配信モデルのベースとして採用。
- ・地方自治体よりGIS以外の森林案件である山林調査の業務を受注。

自社製品開発

- ・主力製品である地理情報戦略システムGEOSISの開発を推進。
- ・2018年1月、道路区画線診断システム「ROAD VIEWER」を開発し、異業種・異業界にむけたシステムの提供を開始。



中期経営計画 I (2016/07-2019/06)進捗 専門特化④BPOソリューション拡張

パートナーと連携した営業活動やセミナーを実施するとともに、新サービスの開発を推進。
第28期は、市場浸透を進め、業務提案型企业への転換を図る。

戦略の進捗

EAP関連業務

- ・ストレスチェックを中心としたEAP関連業務の売上は前期比3.3%減も、おおむね前期並みを確保。
第26期：222百万円 ⇒ 第27期：215百万円

サービスの創出

- ・2017年3月 「ストレスチェックパッケージサービス英語版」提供開始
- ・2017年5月 クラウド型の健康管理システム「LIFEDESK」提供開始
- ・2017年10月 「従業員満足度調査パッケージサービス」提供開始
- ・その他、企業の健康状態を見える化する「HPMスコア診断サービス」の開発を推進

市場浸透

- ・自社単独やパートナー企業と共催での健康経営セミナーの実施。
- ・Webでの販売促進活動に注力。

※EAP：従業員支援プログラム。Employee Assistance Programの略
※HPM：健康経営。Health and Productivity Managementの略



中期経営計画 I (2016/07-2019/06)進捗 部門別採算管理制度ウィングシステム

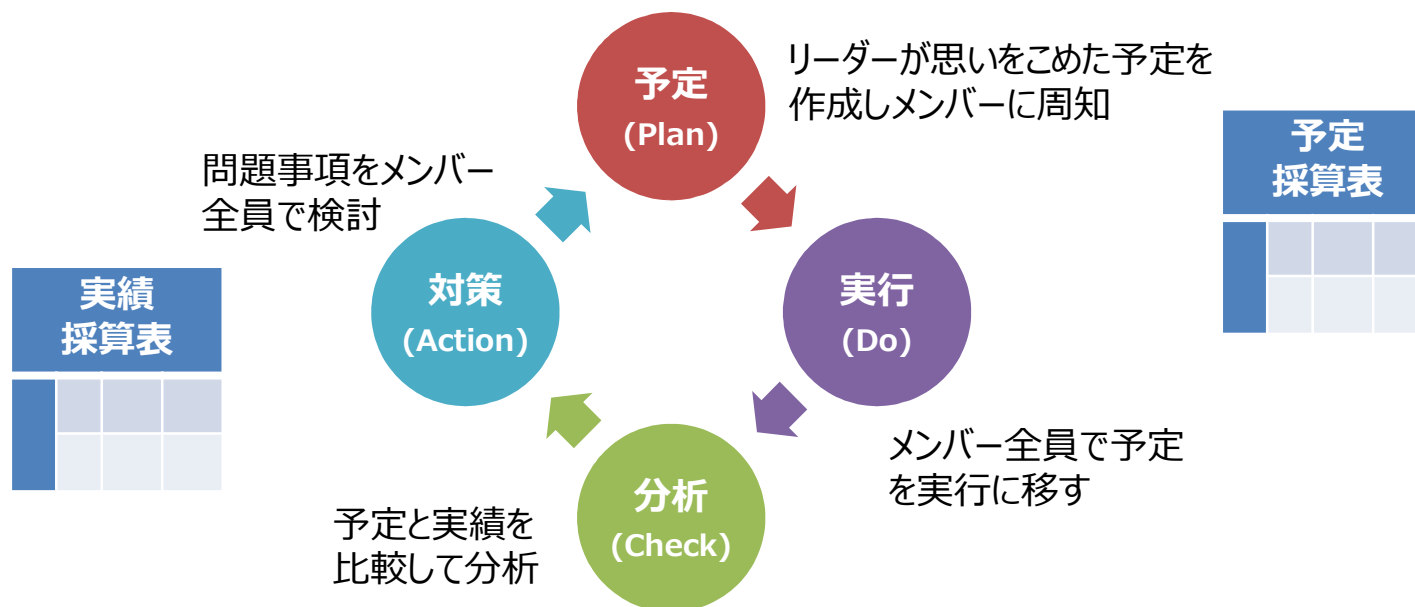
第26期より、グループ全社で導入。

グループ各社では、時間当たり採算表(実績)の作成を進め、指標「時間当たり付加価値」を活用した小集団ウィングごとの採算管理を実施。

アクモス単体では、期首に年間計画であるマスタープランを作成し、PDCAサイクルを回しながらの採算管理を引き続き推進。

当社の時間当たり付加価値の計算式

$$(\text{収入} - \text{労務費以外の経費}) \div \text{総時間} = \text{時間当たり付加価値}$$



第28期業績予想

ITソリューション事業は、既存の請負案件についての需要が堅調、
ITサービス事業は、ストレスチェック等BPOサービスの受注が前期並みと見込み、前期比微増。

連結	2018年6月期		2019年6月期	
	通期実績		通期予想	
売上高	4,200百万円	4,350百万円	3.6%	
営業利益	213百万円	225百万円	5.6%	
経常利益	218百万円	230百万円	5.2%	
親会社株主に帰属する 当期純利益	167百万円	170百万円	1.6%	
1株当たり当期純利益	17.25円	17.53円	—	
株主資本利益率 (ROE)	11.2%	11%以上	—	
時間当たり付加価値	3,118円	3,200円	—	

単体	2018年6月期		2019年6月期	
	通期実績		通期予想	
売上高	2,655百万円	2,750百万円	3.6%	
経常利益	141百万円	150百万円	5.7%	
当期純利益	126百万円	135百万円	6.5%	
1株当たり当期純利益	13.07円	13.92円	—	

※ 2019年6月期の予想数値は、発表日時点で入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定を前提としており、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる場合がございます。

株主還元

安定的な期末配当の継続を目指す

第27期の期末配当は、1株当たり3円、
第28期の期末配当予想は、1株当たり4円を予定しております。

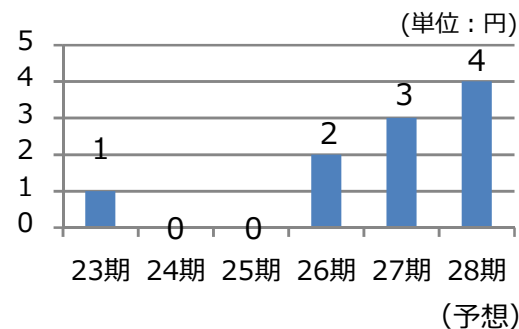
配当政策

当社は株主の皆様に対する安定的な配当の実現を中長期的な重点課題として位置づけ、利益配分に関する基本方針に基づき配当を決定しております。

【利益配分に関する基本方針】

- ・単体当期純利益に対する**配当性向30%**を目標に、連結業績と内部留保を勘案し、配当を行う
- ・配当原資確保のための収益力向上を図る
- ・財政基盤の強化に努める

配当の状況（1株当たり年間配当金）



対処すべき課題

いつも、どんなときも、安心・安全な I T ソリューション & I T サービスをお客様に提供するとともに、社員・家族が安心して業務に従事できる環境を整備してまいります。

I T ソリューション事業に関する課題

- ・受託開発分野の収益性の改善
- ・持続的な事業拡大を実現するための人材確保
- ・専門性の強化にむけた人材育成
- ・製品・サービスの販売促進のためのアライアンス強化

I T サービス事業に関する課題

- ・営業力強化による既存顧客の受注拡大
- ・顧客ニーズをとらえたサービスの創出
- ・サービスの販売拡大にむけたアライアンスの構築
- ・生産性の向上にむけた環境の整備と人材育成

リスクマネジメントに関する課題

- ・社会インフラや行政サービスを支える I T 企業グループとして、いつもどんなときも、お客様に安心してお使いいただける安全なサービスの提供に努めます。
- ・社員その家族が安心して業務に従事できる環境の整備を、より一層進めてまいります。



参考資料

アクモスグループ事業

当社グループは、事業持株会社の当社及び連結対象の子会社3社で構成されており、事業セグメントの区分をITソリューション事業、ITサービス事業の2つに分類しております。

ITソリューション事業



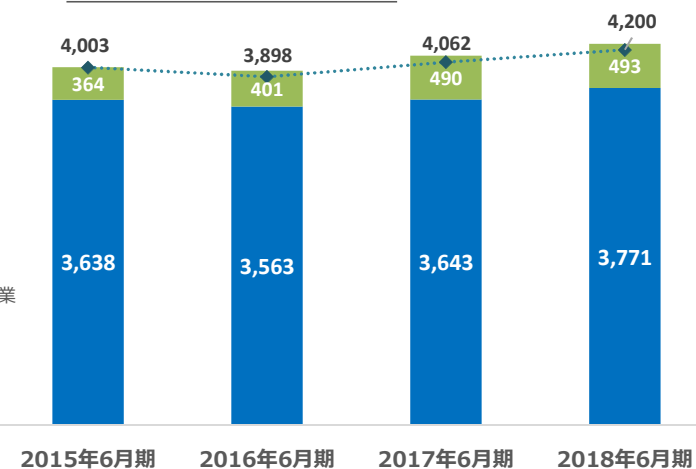
ITサービス事業



■ ITサービス事業
■ ITソリューション事業
◆ 連結

セグメント別 売上高推移

(単位：百万円)



アクモスグループ一覽

アクモス株式会社

設立 1991年8月 資本金 6億9,325万円
所在地 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町三丁目26番地8
TEL : 03-5217-3121 FAX : 03-5217-3122 URL : <https://www.acmos.co.jp>

お問合せ先 hp_biz@acmos.co.jp

主要取引先 株式会社日立製作所、富士通株式会社、官公庁、茨城県、東日本電信電話株式会社、KDDI株式会社、株式会社常陽銀行 他



ACMOSソーシングサービス株式会社

設立 1981年3月 資本金 1,300万円
所在地 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町三丁目26番地8
TEL : 03-5217-3332 FAX : 03-5217-3334 URL : <http://www.acmos-ss.jp>

お問合せ先 info@acmos-ss.jp

主要取引先 日本電気株式会社、NECソリューションイノベータ株式会社、東京医科大学病院、株式会社インテック 他



株式会社ジイズスタッフ

設立 1997年3月 資本金 5,000万円
所在地 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町三丁目26番地8
TEL : 03-5217-3131 FAX : 03-5217-3134 URL : <http://www.gstf.jp/>

お問合せ先 inquiry@gstf.jp

主要取引先 官公庁、大学、民間企業、労働組合 他



ASロカス株式会社

設立 1980年1月 資本金 1億円
所在地 〒290-0056 千葉県市原市五井3926-1
TEL : 0436-24-0374 FAX : 0436-24-2116 URL : <http://www.as-locus.jp/>

お問合せ先 sales@as-locus.jp

主要取引先 株式会社昭文社、一般財団法人消防防災総合センター、株式会社NTT東日本 - 千葉、八王子市他官公庁 他



2018年6月末現在

連結貸借対照表(要約)

(単位：千円)

資産の部			負債の部		
科目	前期末	当期末	科目	前期末	当期末
現金及び預金	1,427,609	1,619,448	買掛金	130,997	144,120
受取手形及び売掛金	573,689	567,302	短期借入金 ※1	311,660	318,330
たな卸資産	65,082	82,843	未払金	145,705	159,820
その他	60,756	66,197	未払費用	320,304	328,204
有形固定資産	221,763	204,613	その他	106,971	157,533
無形固定資産	67,170	49,735	流動負債合計	1,015,640	1,108,008
投資その他の資産	134,837	139,103	長期借入金	72,235	5,575
固定資産合計	423,772	393,451	その他	4,789	5,877
			固定負債合計	77,024	11,452
			負債合計	1,092,664	1,119,461
			純資産の部		
			株主資本合計	1,406,095	1,553,993
			その他の包括利益 累計額合計	8,428	10,895
			非支配株主持分 ※2	43,722	44,892
			純資産合計	1,458,246	1,609,781
資産合計	2,550,911	2,729,243	負債純資産合計	2,550,911	2,729,243

※1 長期借入金（1年以内）を前期末に66,660千円、当期末に66,660千円含んでおります。

※2 連結子会社AS口カス株式会社は、株式会社昭文社が株式の19%を所有しております。

連結損益計算書(要約)

(単位：千円)

	2017年6月期	2018年6月期		
	通期	通期	増減額	増減率
売上高	4,062,660	4,200,704	138,044	3.4%
売上原価	2,864,313	2,926,079	61,765	2.2%
売上総利益	1,198,346	1,274,624	76,278	6.4%
販売費及び一般管理費	1,051,786	1,061,594	9,808	0.9%
営業利益	146,559	213,029	66,470	45.4%
営業外損益	12,406	5,594	▲6,811	▲54.9%
経常利益	158,966	218,624	59,658	37.5%
特別損益	▲2,298	▲1,878	420	▲18.3%
税金等調整前 当期純利益	156,667	216,746	60,078	38.3%
法人税等	8,548	47,557	39,009	—
非支配株主に帰属する 当期純利益	4,233	1,892	▲2,341	▲55.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	143,885	167,296	23,410	16.3%

連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位：千円)

	2017年6月期	2018年6月期		
	期末	期末	増減額	増減率
営業活動によるキャッシュ・フロー	171,665	290,612	118,947	69.3%
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲41,234	▲18,592	22,641	▲54.9%
財務活動によるキャッシュ・フロー	45,758	▲79,783	▲125,541	—
現金及び現金同等物の増減額	176,189	192,236	16,047	9.1%
現金及び現金同等物の期首残高	1,202,611	1,378,800	176,189	14.7%
現金及び現金同等物の期末残高	1,378,800	1,571,036	192,236	13.9%

単体貸借対照表(要約)

(単位：千円)

資産の部			負債の部		
科目	前期末	当期末	科目	前期末	当期末
現金及び預金	790,017	1,009,583	買掛金	80,789	104,921
受取手形及び売掛金	448,129	437,352	短期借入金	240,000	230,000
たな卸資産	35,718	53,935	未払金	54,102	80,304
その他	68,307	68,085	未払費用	210,550	221,983
流動資産合計	1,342,172	1,568,956	賞与引当金	11,600	12,237
有形固定資産	170,750	164,984	その他	89,112	147,141
無形固定資産	14,853	10,601	流動負債合計	686,155	796,586
投資その他の資産	548,432	552,997	長期借入金	0	0
固定資産合計	734,036	728,583	その他	4,789	5,877
			固定負債合計	4,789	5,877
			負債合計	690,944	802,464
			純資産の部		
			株主資本合計 ※	1,376,835	1,484,179
			評価・換算差額等合計	8,428	10,895
			純資産合計	1,385,264	1,495,075
資産合計	2,076,209	2,297,539	負債純資産合計	2,076,209	2,297,539

※ 前期末、当期末ともに、自己株式▲53,911千円を含んでおります。

単体損益計算書(要約)

(単位：千円)

	2017年6月期	2018年6月期		
	通期	通期	増減額	増減率
売上高	2,485,472	2,655,190	169,718	6.8%
営業利益	50,755	116,314	65,558	129.2%
経常利益	73,447	141,873	68,426	93.2%
当期純利益	87,152	126,742	39,590	45.4%

■ 本資料について

本資料に記載されている将来の見通しなどについては、本資料の発表日時点で入手可能な情報に基づいて作成されたものです。今後、当社を取り巻く内外の経済情勢、業界動向、需給関係等の変化にともない、業績見通しに変更される可能性があります。

また、本資料は、当社の株式購入など投資を勧誘する目的で作成されたものではありません。

なお、本資料の将来の見通しについての記述に関しましては、法令上その手続きが必要となる場合を除き、事前の予告なく変更する場合がございますので、予めご了承ください。

アクモス株式会社 経営企画管理部

TEL : 03-5217-3123

HP : <https://www.acmos.co.jp/>